中外製薬株式会社
広報IR部
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1
TEL:(03)3273-0881
FAX:(03)3281-6607
E-mail:pr@chugai-pharm.co.jp
URL:http://www.chugai-pharm.co.jp

2007年11月5日

各　位

抗インフルエンザウイルス剤「タミフル®」2007－2008年シーズンの供給計画について

中外製薬株式会社［本社：東京都中央区／社長：永山　治］（以下、中外製薬）は、抗インフルエンザウイルス剤「タミフル®カプセル75」「タミフル®ドライシロップ３％」（一般名：リン酸オセルタミビル　以下、「タミフル®」）の2007－2008年シーズン（以下、今シーズン）に向けての供給計画がこのほどまとまりましたので、お知らせします。

2006－2007 年シーズンのインフルエンザの流行は例年より流行時期が遅かったものの、2000年以降３番目の大きな流行となりました。
本年２月、複数の 10 歳代のインフルエンザ患者さんの転落事故が報告され、それらの患者さんが「タミフル®」も服用していたことから、本剤との因果関係は確立されていないものの、予防的措置として３月 20 日に緊急安全性情報が発出され、10 歳代の罹患患者へは原則として投与を差し控える旨の警告がなされました。現在、中外とロシュはこれらの事象との因果関係を調査するために追加の試験を実施しています。

以上のような状況から、インフルエンザ受診患者全体の約 20%*を占める 10 歳代のみならず、その他の年代においても「タミフル®」の処方動向は大きく変化し、処方患者数が従来と比べほぼ半減しているものと推測しています。

このため、今シーズンにつきましては、従来の最大流行規模を想定した 1,200 万人相当分の供給体制から処方患者数の半減を考慮し、600 万人相当分の供給体制とすることといたしました。
なお、これを上回る需要に備え、追加供給体制についても検討していく所存です。

中外製薬では今シーズンのインフルエンザの流行に備え、以上の供給計画を策定することにより引き続き安定供給に努めてまいります。

以上

＊：インフルエンザ患者定点報告の年齢階層別報告数から集計